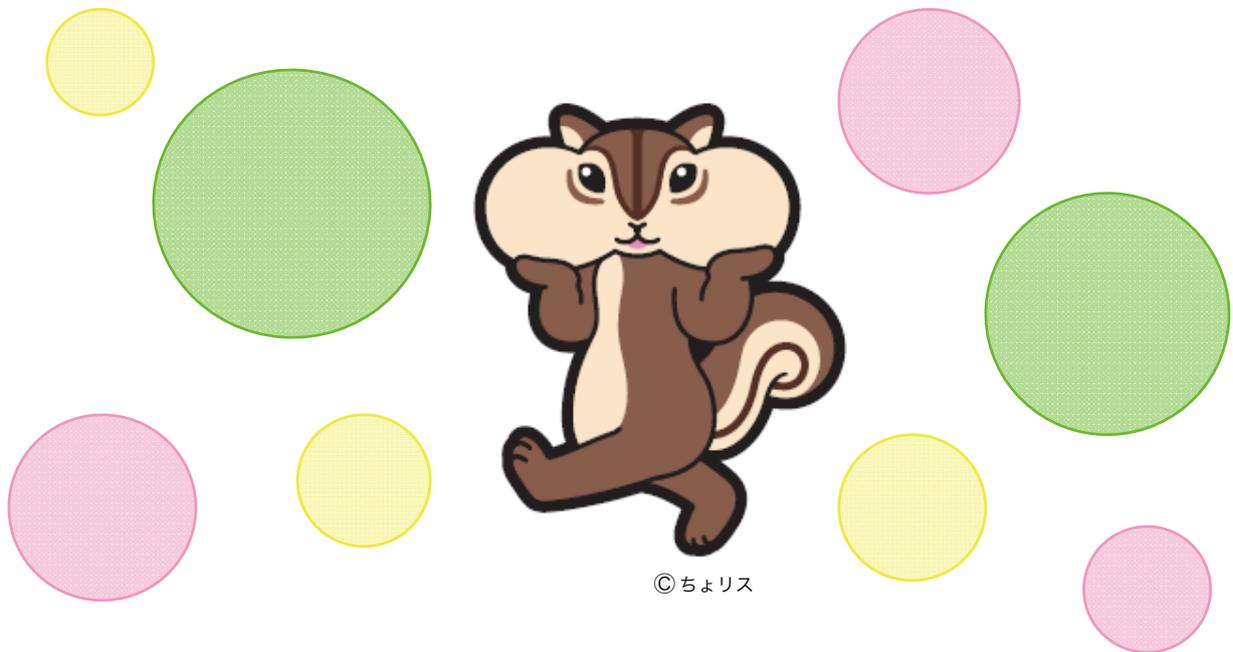


DISCLOSURE

**JA宮崎信連の現況
(平成30年9月末)**



目 次

経営理念・経営方針	1
主要勘定の状況	2
損益の状況	2
単体自己資本比率	2
リスク管理債権	3
金融再生法開示債権（単体）	3
金融再生法開示債権区分に基づく保全状況	3
有価証券等時価情報	4
J Aグループ・J Aバンクシステム	5
社会的責任と貢献活動	6
組織・機構	12
ホームページのご案内	13

本冊子は、農業協同組合法施行規則第207条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
金額は、原則として、単位未満を切り捨てのうえ表示しております。



経営理念・経営方針

当会は、宮崎県を事業区域として、地元のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。当会では資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、JA・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

その中で当会は、JA組合員等利用者基盤の維持・拡充を図りつつ、JAバンクの一体的な事業運営とJAバンク全体の安全性・効率性の確保に努め、JAバンク自己改革を実践していくため、平成28年度から30年度の中期経営計画を策定し、以下の基本方針のもとで、組合員や地域の皆さまに信頼される経営、かつ利用者主導のサービス提供を目指した業務運営を行っております。

1. 組合員等利用者の満足度向上に向けた信頼されるJAバンクの構築
2. 経営体質の強化・安定による収益確保と会員への還元機能強化

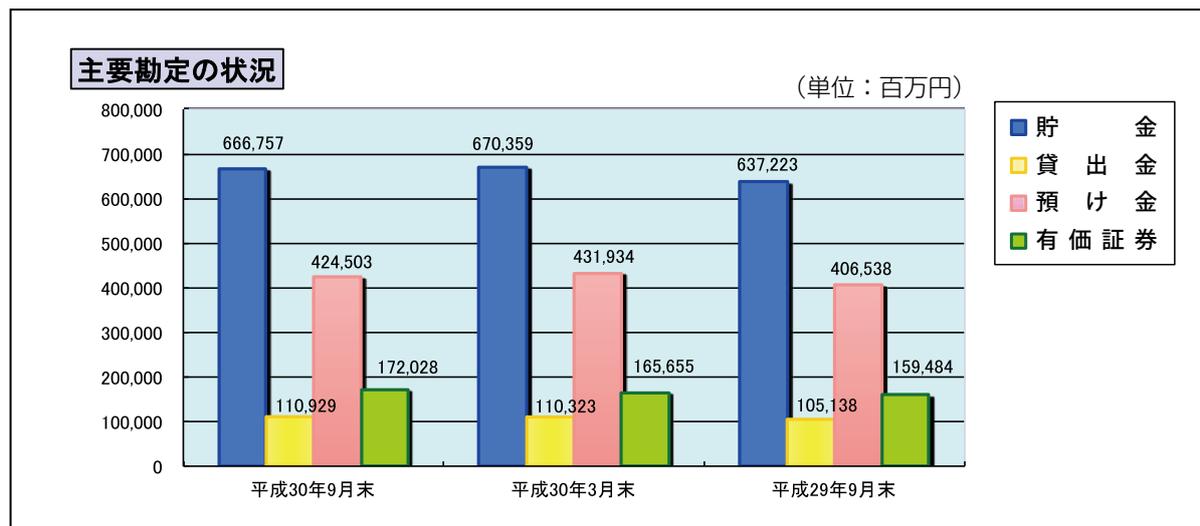
● JAグループ組織図



🐯 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
貯金	666,757	670,359	637,223
貸出金	110,929	110,323	105,138
預け金	424,503	431,934	406,538
有価証券	172,028	165,655	159,484



🐯 損益の状況

(単位：百万円)

	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
経常利益	1,652	2,439	1,779
当期剰余金	1,219	2,078	1,349

🐯 単体自己資本比率

(単位：百万円)

項目	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
自己資本	51,729	50,493	50,947
リスク・アセット等	241,217	237,479	230,308
自己資本比率	21.44%	21.26%	22.12%

(注) 金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しております。

🐿️ リスク管理債権

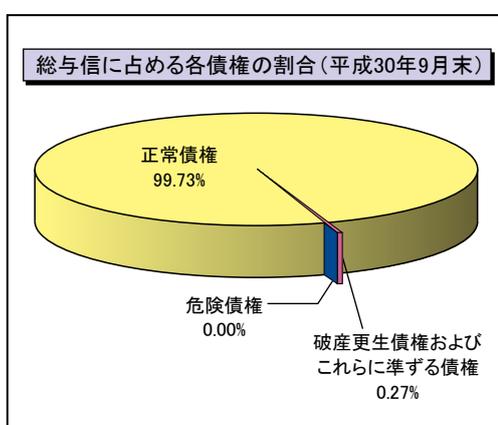
(単位：百万円)

区 分	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
破綻先債権額	287	287	287
延滞債権額	71	1	2
3カ月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
合 計	359	288	289

🐿️ 金融再生法開示債権（単体）

(単位：百万円)

債権区分	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	289	287	288
危険債権	74	2	2
要管理債権	—	—	—
正常債権	113,810	113,202	107,990
合 計	114,173	113,492	108,281



- (注) 1. 破産更生債権およびこれらに準ずる債権
 … 破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権 … 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本回収および利息の受取りができない可能性が高い債権です。
3. 要管理債権 … 基本的には、3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
4. 正常債権 … 債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記1～3に該当しない債権です。

🐿️ 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

(単位：百万円)

債権区分	債権額	保 全 額			
		合 計	担 保	保 証	引 当
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	289	289	—	1	287
危険債権	74	74	12	2	59
要管理債権	—	—	—	—	—
小 計	363	363	12	3	346
正常債権	113,810				
合 計	114,173				



有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	取得価額	時 価	差 額
平成30年9月末			
売 買 目 的	—	—	—
満期保有目的	27,833	26,881	△951
そ の 他	140,264	144,195	3,930
合 計	168,098	171,077	2,978
平成30年3月末			
売 買 目 的	—	—	—
満期保有目的	26,542	26,043	△499
そ の 他	134,426	139,112	4,686
合 計	160,968	165,155	4,186
平成29年9月末			
売 買 目 的	—	—	—
満期保有目的	25,228	24,875	△353
そ の 他	129,426	134,256	4,829
合 計	154,654	159,131	4,476

(注) 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。
売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他目的有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。



JAグループ・JAバンクシステム

当会の貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との2重のセーフティネットを守られています。

●「JAバンクシステム」の仕組み

JAバンクは、全国のJA・信連・農林中央金庫（JAバンク会員）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆さまに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員の総力を結集し、実質的にひとつの金融機関として活動する「JAバンクシステム」を運営しています。

「JAバンクシステム」は「一体的事業運営」と「破綻未然防止システム」を2つの柱としています。

●「一体的な事業運営」の実施

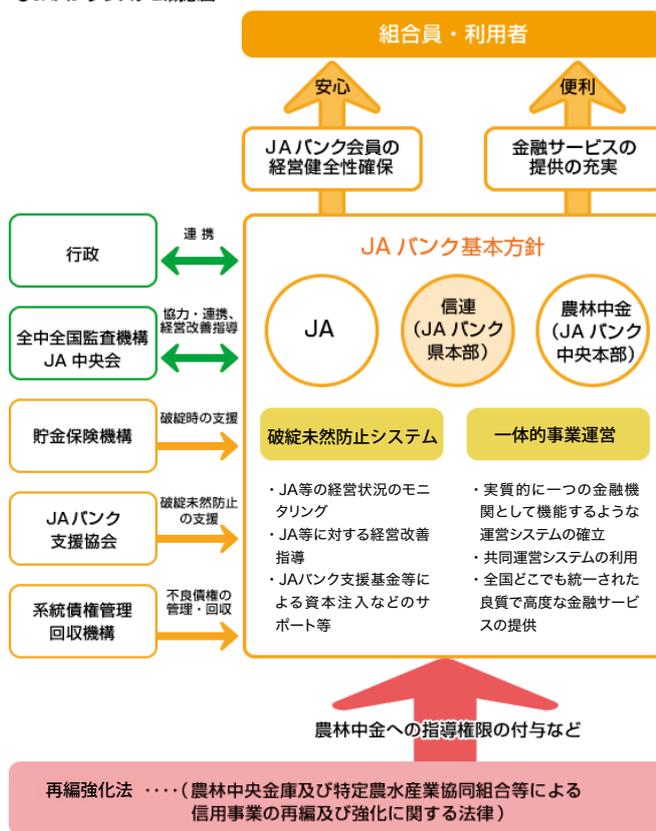
良質で高度な金融サービスを提供するため、法令等を遵守したうえで、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業運営の取り組みをしています。

●「破綻未然防止システム」の機能

「破綻未然防止システム」は、JAバンク全体としての信頼性を確保するための仕組みです。再編強化法（農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）に基づき、「JAバンク基本方針」を定め、JAの経営上の問題点の早期発見・早期改善のため、国の基準よりもさらに厳しいJAバンク独自の自主ルール基準（達成すべき自己資本比率の水準、体制整備など）を設定しています。

また、JAバンク全体で個々のJAの経営状況をチェックすることにより適切な経営改善指導を行います。

●JAバンクシステム概念図



●貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信金、信組、労金などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

社会的責任と貢献活動

当会は、宮崎県を事業区域として、地元のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

■■ JAバンク自己改革の取組み ■■

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組むため、農林中央金庫およびJAと一体となり、「JAバンク自己改革」に取り組んでおります。

主な取組みとして、①「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」に基づき、信用事業と営農経済事業等が連携して、農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応を行います。②国産農畜産物の消費拡大に資する金融サービスの提供等により、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービス提供・地域貢献等を行います。

■■ 農業メインバンク機能の強化等にかかる取組み ■■

多様化・高度化する大規模農業法人や担い手経営体のニーズに直接対応し、かつJAの取組みを積極的にサポートしております。

また、JA・連合会・農林中央金庫等と連携して、地域の中核的な担い手となるメイン強化先や農業法人の全先訪問活動を実施し、関係を構築・強化することで農業金融センター機能の強化・拡充に取り組んでおります。

主な取組みとしては、「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」等に基づき、新規就農応援事業、JAグループ宮崎農機具購入応援事業、JAバンク利子補給事業、JAバンク保証料助成事業等を実施しております。



JAグループ宮崎
農機具購入応援事業

JAグループ宮崎は、JAグループ宮崎の信用事業と営農経済事業とを連携して、農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応を行います。

JAグループ宮崎の信用事業と営農経済事業とを連携して、農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応を行います。

JAグループ宮崎の信用事業と営農経済事業とを連携して、農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応を行います。

JAグループ宮崎の信用事業と営農経済事業とを連携して、農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応を行います。

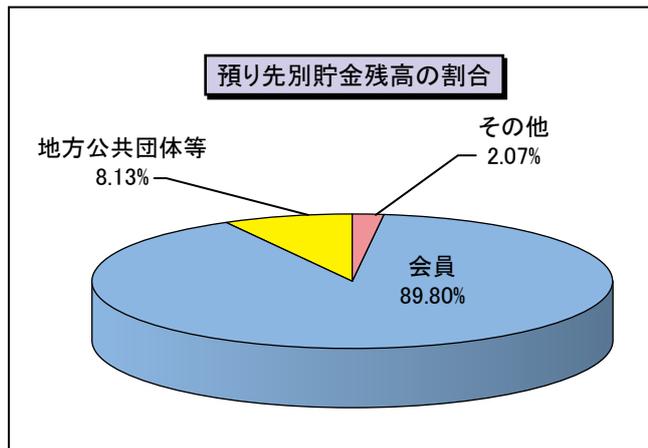
JAグループ宮崎の信用事業と営農経済事業とを連携して、農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応を行います。



■地域からの資金調達の状況■

● 貯金残高 (単位：百万円)

預り先	残高
会 員	598,753
地方公共団体等	54,233
金 融 機 関	—
そ の 他	13,770
合 計	666,757



● 貯金商品の販売

県下JAでは、県下統一企画として、セカンドライフ応援定期貯金「ゆとり」、懸賞付定期積金「たまらん♪らん♪」、懸賞付定期貯金「サマーキャンペーン2018」のキャンペーン商品を販売しました。このうち「サマーキャンペーン2018」では、全国和牛能力共進会にて3大会連続内閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛1頭分のお肉を、山分けでプレゼントする企画を実施し大好評を得ました。

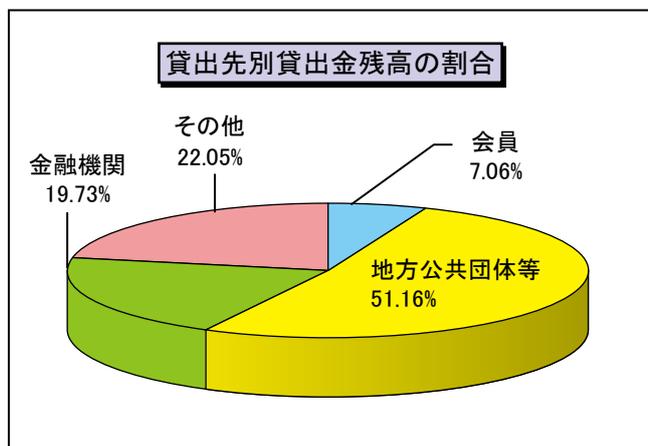
また、主に冬のボーナス商品として懸賞付定期貯金「ツクツクキャンペーン」(平成30年10月～12月)を販売しており、懸賞品には宮崎ブランドポークを採用するなど、「食」と「農」を意識した金融商品を企画・販売することで宮崎県内の農畜産物の消費拡大にも努めております。



■地域への資金供給の状況■

● 貸出金残高 (単位：百万円)

貸出先	残高
会 員	7,832
地方公共団体等	56,747
金 融 機 関	21,885
そ の 他	24,463
合 計	110,929



● ローン商品の販売

県下JAでは、県下統一のローン商品として、住宅ローン、リフォームローン、マイカーローン、教育ローン等を取り扱っております。



※当会では、農業法人の皆さま向けにアグリプロモートローン「にないて」を準備いたしております。
 ※現行の金利とは異なる場合があります。

● 制度融資取扱状況

(単位：百万円)

制度資金名	制度資金の概要	残高
農業近代化資金	規模拡大や設備投資等に必要な資金の融通を目的とした貸出金	943
合計		943

■ お客さま本位の業務運営に関する取組方針 ■

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当会では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

(1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

(1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。

(2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。

(3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

3. 利益相反の適切な管理

(1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

(1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

■■■地域密着型金融への取組み■■■

(中小企業等の経営改善および地域の活性化のための取組みを含む)

● 農業者等の経営支援に関する取組方針および態勢整備

当会は、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「当会の最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当会の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、「金融円滑化にかかる基本方針」を定め、農業者等の経営支援に取り組んでおります。

● 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

J Aバンクとして、担い手ニーズや経営状況を踏まえ注力すべき層の絞込みや対応を図るため、担い手金融リーダーを全J Aに設置し役割や機能を明確にするとともに、個々のスキルアップを図っております。

また、担い手がメインバンクに求める金融機能を適時・的確に提供していくため、農業法人向け資金「にないて」による支援や、農業所得増大・地域活性化応援プログラム（①就農者に対する貸出利子助成・補給事業、②国産農畜産物・加工品の販路拡大に向けたマッチング機能の推進、③新規就農者に対する支援等）や農業法人向け資本供与としてアグリシードファンドの取り扱い等に取り組んでおります。

● 営農サポート支援

組合員の所得向上を目指した営農基盤強化を図るとともに、「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」に取り組むため、「A S S I S T活動連絡会議」に参画し、担い手の育成支援、組合員の所得アップ、営農基盤の強化等に取り組んでおります。

● 経営の将来性を見極める融資手法を始め担い手に適した資金供給手法の取組み

本県の豊富な農林水産資源を活用した産業振興および地域経済活性化を図るため、農林漁業者と中小企業者が連携して取り組む新商品開発等の事業に対して助成を行う「みやざき農商工連携応援ファンド」が平成20年度に創設され、県・地域金融機関と連携のうえ融資を行いました。

平成21年度から各助成事業の公募が開始されております。

■ 文化的・社会的貢献活動 ■

● JAバンク食農教育応援事業の展開

県下JAは、農業に対する理解とファン作りを目的に、次世代を担う子ども達を対象に「JAバンク食農教育応援事業」として、次の事業を行っております。

- ・「教材本贈呈事業」は、小学校5年生を対象に、『農業とわたしたちの暮らし』の教材本を贈呈し、授業の中で利用することで、宮崎の主要産業である農業と食の重要性の理解者を育てることを目的とした事業です。
- ・「教育活動助成事業」は、JAが行う、子ども・小学生等を対象とした農業体験学習や料理教室等の活動に対し助成を行うことで、子どもの食への関心を高め、食の大切さ、食を支える農の役割などに対する理解を深めることを目的とした事業です。



「教材本」



「宮崎県教育委員会 四本教育長に
教材本を贈呈」

● 年金相談会の実施

年金に関する社会的関心が高まる中で、県下JAに社会保険労務士を派遣し、年金相談会を実施しております。

● 住宅ローン相談会の実施

昨今の低金利により住宅ローンのニーズが高まる中、県下JAにおける住宅ローン相談会の開催支援を行っております。

● AEDの設置

JAビル内に、事故や病気で突然心臓が止まった人に電気ショックを与え正常な心臓の動きを取り戻すための医療機器「AED（自動体外式除細動器）」を設置し、万が一の救命処置に対応できるよう備えております。

また、普通救命講習に参加してAED、救命処置、応急手当等に必要な正しい知識や技能を習得しております。

● 環境保全対策運動の実施

JAグループでは、地球温暖化防止を目指し、古紙のリサイクル運動や省エネ運動を実施しております。

このうち古紙のリサイクル運動では、JAビル内で発生する古紙を分別し、再生したトイレットペーパーをJAビルなどで利用しております。

また、省エネ運動としては、エレベーター使用自粛、冷暖房の適正利用等により、CO₂削減を目指しております。

● ちょりスカラーバスの運行

JAバンクのイメージアップを目的に、JAバンクイメージキャラクターである「ちょりス」を活用したカラーバスを宮崎・都城・延岡の3路線で運行しております。

地域に寄り添い、宮崎の発展に貢献する「宮崎愛」を「LOVE」というワードで表現し、JAバンクの親しみやすさをPRしております。



JAバンク宮崎フルラッピングバス

● 赤十字事業への協力

献血車をJAビルに定期的に受け入れるなど、日本赤十字社の献血へも積極的に参加・協力しております。

また、赤十字事業への継続的な支援活動により、昨年、日本赤十字社より感謝状を授与されました。

● 災害復興支援活動

平成30年7月の豪雨による土砂崩れや浸水等が西日本各地で発生、また、平成30年9月、10月には台風24号、25号の影響により強風や豪雨による浸水等が県内各地で発生し、農業や農業関連施設等にも甚大な被害をもたらしました。

協同組合組織として、西日本豪雨被災地の広島県、愛媛県および県内被災地農家等へ職員を派遣し、農業関連施設、ビニールハウス等施設の復旧・復興等支援活動を行いました。

また、西日本豪雨被災地、平成30年9月の北海道地震による被災地の復興を願い、役職員による募金活動を行いました。

● エコキャップ回収活動

ペットボトルキャップを回収し、業者を通じてJCV（世界の子どもにワクチンを日本委員会）へ届けることで、子どもたちにポリオワクチンを贈る運動に取り組んでおります。



組織・機構

● 組織情報

(平成30年10月1日現在)

設立年月	職員数	出資金
昭和23年8月	115名	20,893百万円

● 店舗

(平成30年10月1日現在)

店舗名	所在地	代表電話番号
本所	宮崎市霧島1丁目1番地1	(0985) 31 - 2062

● 協同会社

(平成30年10月1日現在)

名称	所在地	設立年月日	資本金	当会出資比率	業務内容
(株)九州地区農協 オンラインセンター	福岡市南区横手 2-13-35	昭和52年10月1日	85億円	12.44%	九州地区の農協・ 農協連合会業務の 電算機による処理

● 自動化機器の設置状況

ATM（現金自動預入・支払機）の設置台数

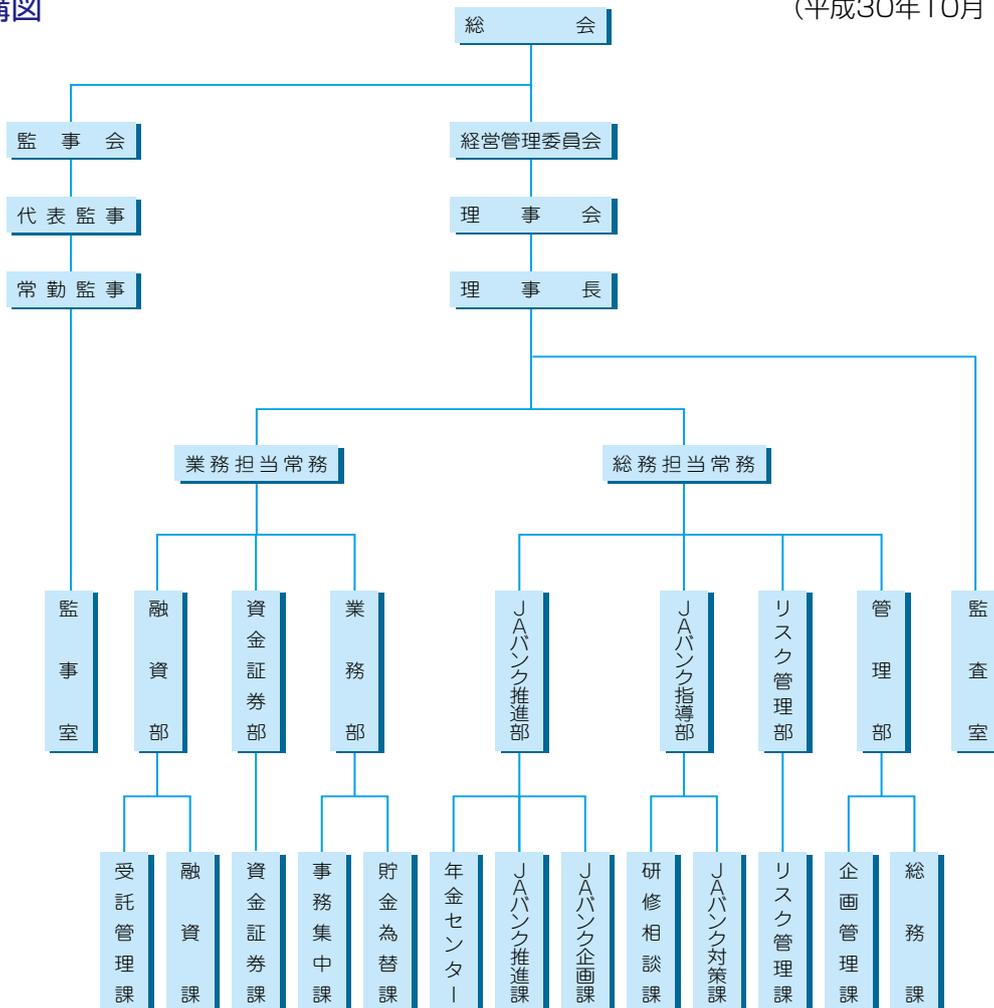
(平成30年10月1日現在)

区分	店舗内	店舗外
JA設置	97台	46(6)台
信連設置	2台	1(1)台

() うち共同設置台数

● 機構図

(平成30年10月1日現在)



ホームページのご案内

当会の概要や経営・財務の状況をはじめ、JAバンク宮崎の各種お知らせはインターネットのホームページでご覧いただくことができますのでご利用ください。

なお、当会の個人情報の利用目的、保有個人データに関する開示等手続き、共同利用に関する事項などにつきましても掲載しておりますので、ご参照ください。

JAバンク宮崎ホームページアドレス：<http://ja-bank.ja-miyazaki.jp/>

JA宮崎信連ホームページアドレス：<http://shinren.ja-miyazaki.jp/>



©ちょリス

LINE@ × @jabkmiyazaki

キャンペーン情報やLINEのお友だち限定情報などを随時お届けします。



お友だち
になって
お得な情報を
GETしよう!

©ちょリス

平成30年12月発行

 宮崎県信用農業協同組合連合会

管理部 企画管理課

〒880-8686 宮崎市霧島1丁目1番地1

TEL (0985)31-2064

FAX (0985)31-5006

